

これからの砂防行政

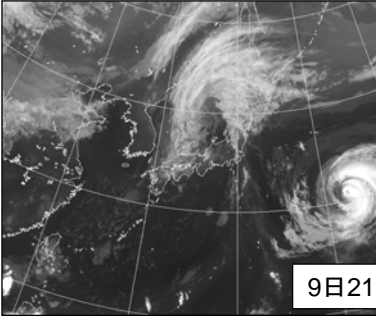
平成27年 11月26日
国土交通省
水管理・国土保全局
砂防部

平成27年 全国の土砂災害発生状況



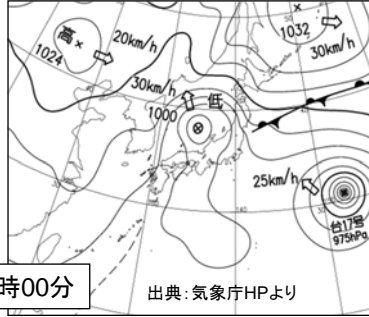
線状降水帯(台風第18号等による大雨)

衛星画像



9日21時00分

地上天気図



出典：気象庁HPより

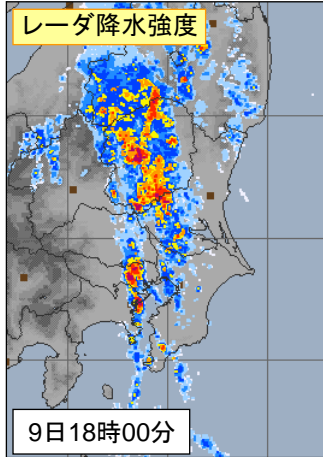
観測史上1位を更新した地点

※アメダス観測値 による統計

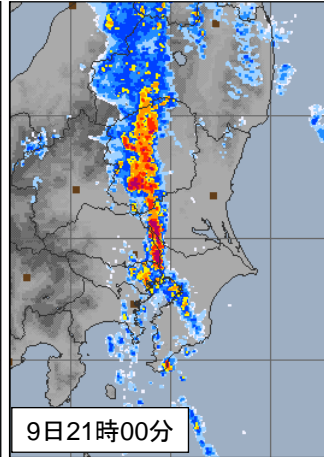
都道府県	市区町村	地点名	降水量 (mm)
栃木県	日光市	五十里 (冇)	551.0
栃木県	日光市	土呂部 (トヲ)	444.0
栃木県	日光市	今市 (イマ)	541.0
栃木県	鹿沼市	鹿沼 (カヌ)	444.0

出典：気象庁HPより

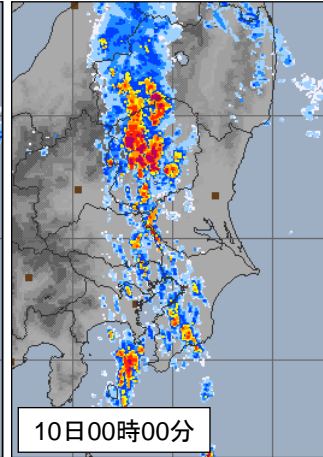
レーダ降水強度



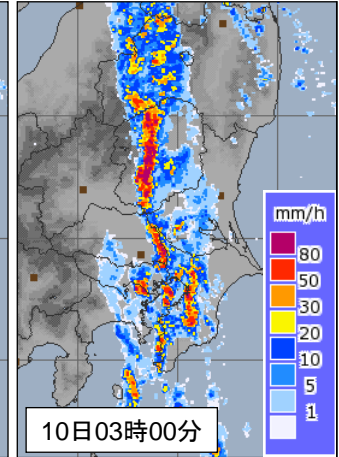
9日18時00分



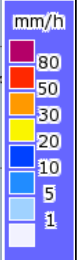
9日21時00分



10日00時00分



10日03時00分



台風18号の大雨に伴う土石災害の発生状況

土石災害発生件数

177件

- 土石流等：36件
- 地すべり：5件
- がけ崩れ：136件

【被害状況】

- 人的被害：死者 1名、負傷者 3名
- 人家被害：全壊 15戸、半壊 5戸、一部損壊 27戸

土石流等

栃木県日光市芹沢



砂防堰堤が崩壊土砂を補足し、下流集落への被害なし

土石流等

福島県南会津町東



がけ崩れ

栃木県宇都宮市大網



家屋全壊1戸

地すべり

宮城県白石市越河



家屋全壊1戸

がけ崩れ

栃木県鹿沼市日吉町



死者1名、負傷者1名
家屋全壊1戸、半壊2戸

砂防堰堤の効果 <田茂沢第1・第2砂防堰堤(日光市芹沢)>



田茂沢第1砂防堰堤

土石流発生前 (H27.8.11)



土石流発生直後 (H27.9.11)



田茂沢第2砂防堰堤

土石流発生前 (H26.11.28)



土石流発生直後 (H27.9.11)



平成27年の施設効果事例

1/11 福井県福井市月見3丁目



9/8 静岡県浜松市西区白州



4/6 兵庫県美方郡香美町小代区大谷



9/10 栃木県日光市芹沢



7/1 愛媛県宇和島市吉田町立間尻



9/1 愛媛県宇和島市蛤

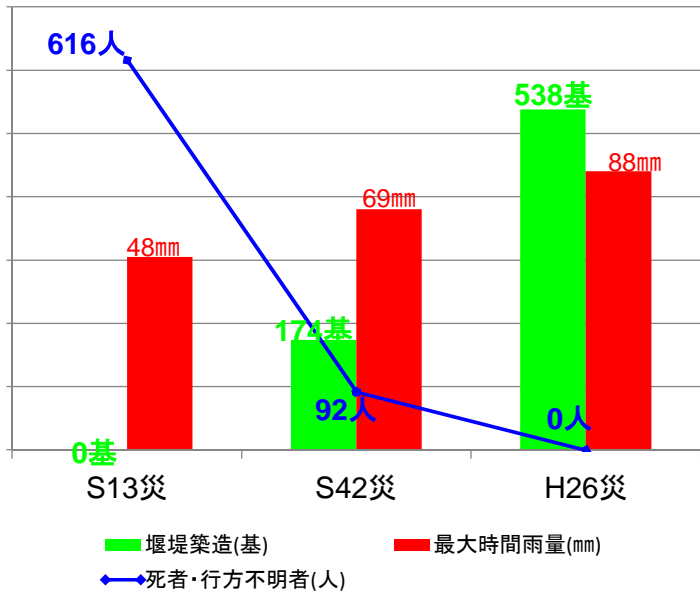


兵庫県神戸市における砂防事業のストック効果

H26年台風第11号(8月10日)の最大時間雨量は、過去の災害と同等以上



約270箇所[※]で斜面崩壊発生も、砂防堰堤の整備等により、**人的被害はなし**



新潟県湯沢町における砂防事業のストック効果



昭和10年
砂防施設数 堰堤0基
<湯沢町の活性化状況> 市街化面積 40.93 km ² 人口 6,688人
※直轄砂防事業着手前

平成26年
砂防施設数 堰堤35基、魚野川流路工 等
<湯沢町の活性化状況> 市街化面積 57.54 km ² 人口 8,289人 観光客数 475万1千人 財政力指数1.09 (H24:全国約1700市町村のうち、第40位) 市町村ごとの一人当たり年間所得 3,789千円 (H24:新潟県内市町村1位)
関越自動車道 約11,000台/日 (平日平均24時間) 国道17号 約13,000台/日 (平日平均24時間)



全国の砂防の碑の中から

【はじめに砂防ありきの碑】

長野県平川源太郎砂防堰堤脇の石碑は、平川流路工第一期計画完了を記念して平成3年に建立されたものであり、「白馬村の歴史をみたととき、絶えず発展の前に砂防事業が行われてきたことを忘れてはいけない」という思いが記されている。



【砂防恩碑と造林恩碑】

滋賀県の旧甲西町公民館の前庭には二つの大きな石碑がひっそりと佇んでいた。現在は、湖南市の妙感寺児童遊園に移設されたが、昭和19年3月に建立された石碑には、明治44年から33年間にわたって行われた砂防事業に対する感謝の思いが刻まれている。



【有備則無患(そなえあればうれいなし)の碑】

昭和7年からはじめた阿弥陀川治水砂防事業などをはじめ、鳥取県下の各河川の砂防工事は、土地の荒廃と人命を護ってきた。これらに功績のあった赤木正雄揮毫による「有備則無患」の碑が大山町佐摩地内に昭和36年に建立された。

8

平成28年度 砂防関係予算 概算要求概要

水管理・国土保全局関係予算

(一般会計国費)

○一般公共事業 9,245億円 (1.16倍)

(うち、砂防関係 1,211億円)

○災害復旧等 506億円 (1.00倍)

○行政経費 13億円 (1.18倍)

合計 9,764億円 (1.15倍)

※この他に、東日本大震災からの復旧・復興対策にかかる経費(2,914億円)、省全体で防災・安全交付金(12,853億円)、社会資本整備総合交付金(10,574億円)がある。

(四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある)

重点項目

○下流域の安全度向上や重要交通網の保全に寄与する土砂災害対策

○甚大な土砂災害が発生した地域等において集中的に実施する災害対策

○火山地域における土砂災害対策

○深層崩壊対策

○改正土砂災害防止法を踏まえた土砂災害警戒区域等の指定促進

火山噴火に起因する土石流等への対策強化【新規】

○火山噴火に起因する土石流災害を防止・軽減するため、監視・観測機器の設置等の警戒避難対策、緊急対策用資材の事前準備等、ハード・ソフト一体となった火山噴火緊急減災対策事業を創設

地域の自発的な防災活動を支える土砂災害対策【拡充】

○地区防災計画を策定する等、住民等が具体的な避難行動を想定して定めた避難場所等を土砂災害から守るための土砂災害防止施設の整備を推進

9

日光市^{せりさわ}芹沢地区土石流災害への対応状況

■ 8溪流（9箇所）において土石流が発生した日光市芹沢地区に対し、国土交通省は災害翌日より土砂撤去や仮排水路設置などを実施するとともに、土砂災害専門家及びTEC-FORCEによる溪流調査を実施し、日光市長へ報告。



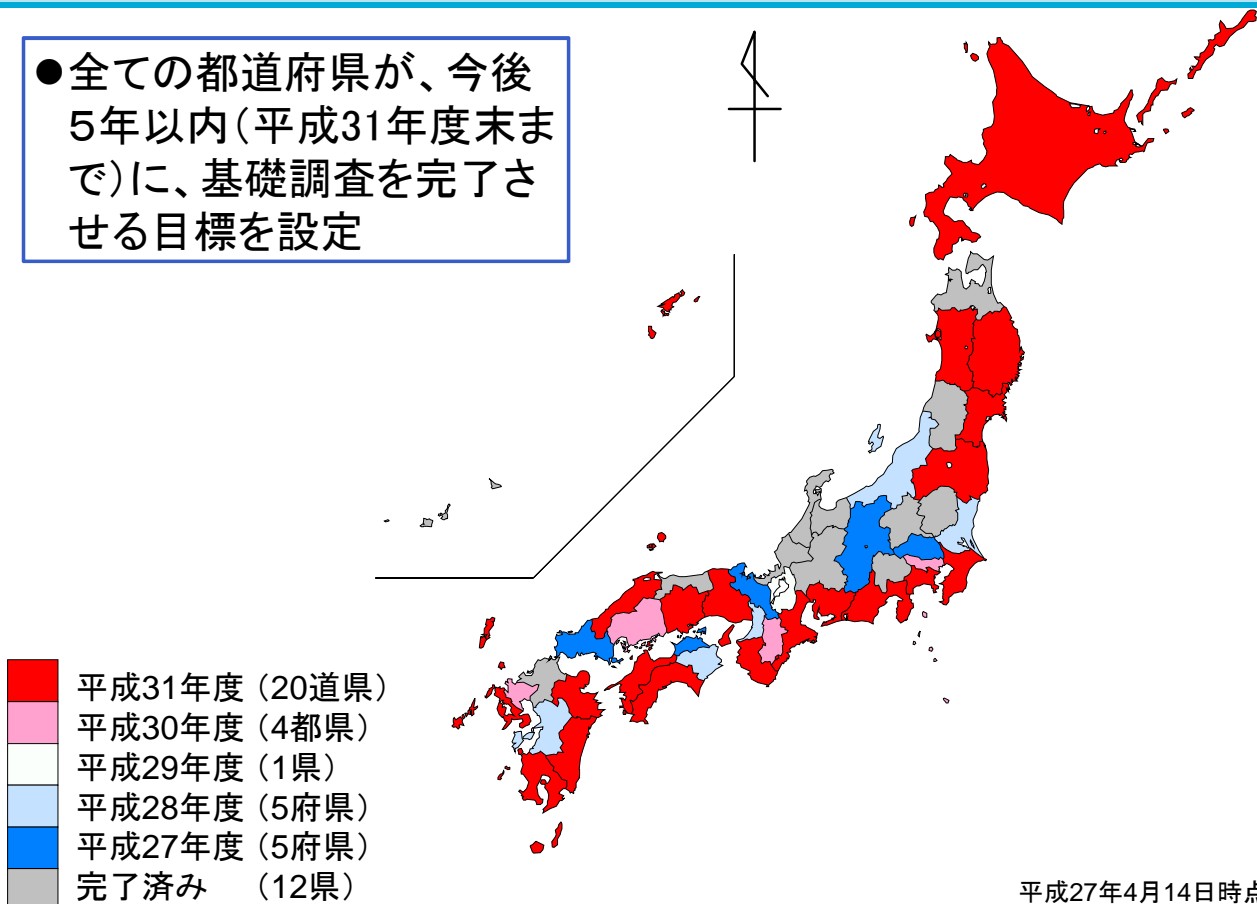
■土砂災害専門家及びTEC-FORCEによる溪流調査状況



■日光市長への調査結果報告

基礎調査の完了予定年度

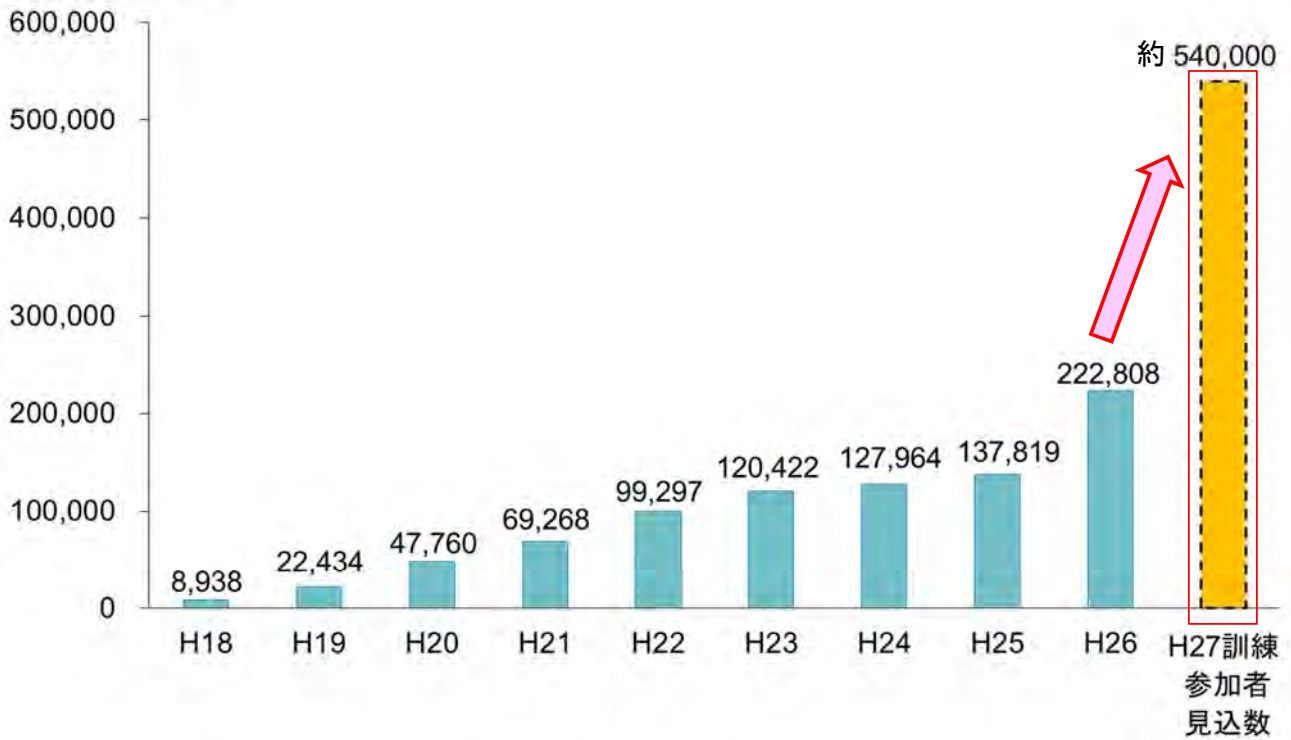
● 全ての都道府県が、今後5年以内(平成31年度末まで)に、基礎調査を完了させる目標を設定



「土砂災害・全国防災訓練」参加者数の推移(中間とりまとめ)

訓練参加者数(人)

平成27年9月15日時点



12

安全・安心な地域、国土のために



ご静聴ありがとうございました

13